

平成 24(2012)年 10 月 幸日

マスコミ各位



謹啓 秋桜の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこと、また、貴社におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、近年の日本の政治、教育、医療に満足をしている国民はいるでしょうか。満足をしていない理由のひとつに、政治家・弁護士・医者など『先生』と呼ばれる人々、そこで仕事をする人々の『相手の立場にたつ』マナー力の欠如が挙げられます。

マナーと聞くと、杓子定規な形式を連想なさる方が多いでしょう。しかし、本来のマナーは形式ではなく、人々の思いやりの心から成るものであります。

このたび、マナーコンサルタントとして『形』よりも『心』を重視させるマナー教育に心血を注いでおる、西出ひろ子(本名 西出博子・NHK 大河ドラマ「龍馬伝」マナー指導など)が代表理事を務める、一般社団法人マナー教育推進協会が発足から今秋、本格始動する運びとなりました。

本協会は、主に、『先生』と呼ばれる人々に対するマナー指導を徹底強化することにより、トラブルのない、人々が心地よく過ごせる社会形成を目的としています。特に、政治家、医者、弁護士、教職員など、『先生』と呼ばれながらそれを業としている方々に、心からのマナーがなければ、国民、患者、依頼者、生徒たちは幸せにはなれません。

また、これらを伝えるマナー講師たちも同様です。今までの日本のマナー教育は、『形』重視の指導をしてきました。それにより、相手に対する思いやりに欠けた、マニュアル重視、形重視、表面を取り繕う対応が充満し、それに不満を持つ人も少なくありません。

さらに、ペット産業の需要が増える中、ドッグトレーナー、ドッグシッターなど、動物を取扱う人々が増えている中において、その教育も動物の生態やしつけの仕方を重視するあまり、肝心な人としての基礎基本、マナーあるコミュニケーション能力が欠如した人がそれらを行い、飼い主とのトラブルも増加しています。

中でも、ドッグトレーナーに生後4ヶ月のトイ・プードルを預け(トレーニングではなく、単なるお預け)、そのトレーナー宅で、トレーナーが目を離れた隙に骨折(骨折の真相は未だ明らかにされておらず)し、壊死、断脚となった幼犬もいます。そのドッグトレーナーは、注意義務・過失責任はないとして、飼い主に謝罪の言葉すらないというトラブルも現実起きています。

『先生業』という専門職の人々は、その専門分野に長けてることは元より、その前に、一人の『人』としての礼節や常識を持った上で、それを業としなければ、今後、人のみならず、動物たちの被害も多くなる社会となります。

本協会の提唱するマナーは『相手の立場にたつ』です。私たちひとり一人にこの真のマナーが身につけば、いじめも、犯罪も自殺も減少するのではないのでしょうか。

ぜひ、このマナー推進活動を多くの方々にご覧いただき、『先生』たちのマナー力=人間力の向上を図ってまいりたく存じます。何卒よろしくご願ひ申し上げます。

敬白

一般社団法人マナー教育推進協会

<http://www.manners-ring.or.jp> contact@manners-ring.or.jp

TEL:03-5413-7377(大代表・ウイズ内)

FAX:03-5413-7321

〒107-0062 東京都港区南青山6-2-9 南青山NYKビル4階・5階

(広報担当：斎藤・似鳥)